

行政収容施設や多頭飼育崩壊現場から引き取る 保護犬の一時隔離部屋の設置

NPO法人ワン'sパートナーの会

NPO法人ワン'sパートナーの会は、一頭でも不幸な動物たちを減らし、人と動物が共生できる社会を目指し、動物保護活動や、ボランティアの育成、保護・譲渡を行っている団体です。

【活動背景】

沖縄県では飼い主を持たない犬の収容数が減少傾向にあるものの、野犬・畑犬（番犬）などの昔ながらの飼育方法が未だ横行し、困窮者や高齢化での飼育・多頭崩壊が後をたちません。ワン'sパートナーでは、一般家庭での一時預かりをすることで人や環境慣れを促進していますが、妊娠・病気・咬傷・ワクチン未接種・未妊などの理由で一旦隔離をしないとイケない犬たちの依頼が増加し、一時保管施設の確保が課題となっていました。



新たに設置した隔離部屋

【助成金の用途・活動結果】

助成金は、犬を保護した際に一時保管するための隔離部屋設置工事に活用されました。保護犬の性格等（野良が長かった子・野犬等）により、直ぐに「譲渡活動」に移せない犬たちも多く、一時保管所（隔離部屋）にて保護し「家庭犬」としての躰トレーニングを施し送り出すことができました。2023年度の活動では306頭保護し、278頭譲渡を行いました。

【活動目的】

多頭飼育崩壊の犬、野犬・咬傷、出産犬など、一般収容場所に入れることのできない受け入れ困難犬を一時保管場所に移すことによって命の期限をなくし、人馴れを促進させ、預かり先を慎重に選び、より多くの譲渡につなげることを目的としています。



【団体からのメッセージ】

2023年4月「助成」を受け、多くの子が「隔離部屋」から「家庭犬」へと卒業（譲渡）しております。現在もフル稼働している「隔離部屋」であり、「助成」を受けたことにメンバー一同「感謝の念に堪えません」。JACの皆様にあたっては、これからも当会活動を見守っていただけましたら幸いです。宜しくお願いいたします。